



飯島町カーボンニュートラル宣言

～飯島町は 2050 年二酸化炭素排出量実質ゼロを目指します～

世界気象機関（WMO）は、近年の世界各地で発生している記録的な高温や大雨、大規模な干ばつなどの異常気象が地球温暖化の傾向と一致しているとの見解を示しています。我が国においても頻発する局地的大雨や台風の激甚化など、気象災害の原因が二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスによる気候変動にあると分析されており、この非常事態を座視すれば、未来を担う世代に持続可能な社会を引き継ぐことはできないという強い危機感を抱かざるを得ません。

飯島町自然環境保全条例では、「飯島町の豊かな自然は、祖先から受け継いだ尊い遺産であり、わたくしたちは、これを大切に保存し、つぎの世代に伝えなければならない」との理念を掲げています。また、2021年に策定した飯島町第6次総合計画では、「美しく快適な暮らしの環境を将来へつなぐ」を基本目標の一つとして取り組んでいます。

飯島町はこの理念を継承し、かけがえのない地球環境を次世代に引き継ぐため、2050年までに飯島町の二酸化炭素排出量を実質ゼロとする「カーボンニュートラル」の実現を目指すことを宣言します。

また、「カーボンニュートラル」の実現に向けて、飯島町の豊かな森林と清流、農村文化などの地域資源を最大限に活用することにより、地域課題の解決と脱炭素社会の実現を目指す「環境循環ライフ構想」の取り組みを推進します。

令和4年（2022年）10月29日

飯島町長